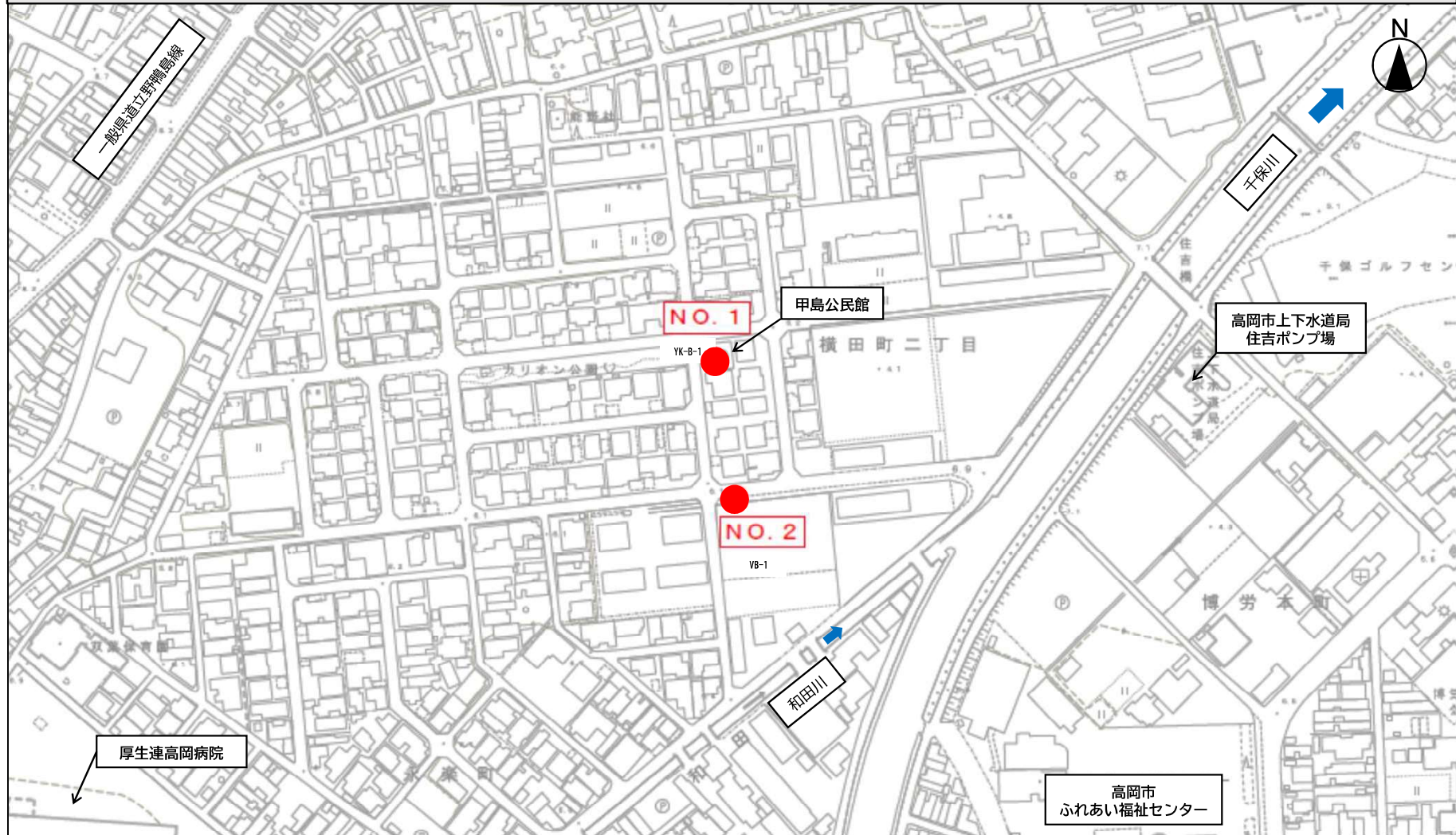


横田地区 ボーリング調査位置図

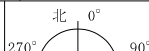
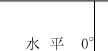


土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名高岡市液状化対策検討業務委託

事業または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名		YK-B-1			調査位置		富山県高岡市横田町2丁目地先					北	緯	36° 44′ 44.868″						
発注機関		富山県 高岡市					調査期間		2024年06月20日～2024年07月10日				東	経	136° 59′ 56.468″					
調査業者名					主任技師				現代場人				コア鑑定者				ボーリング責任者			
孔口標高		T P 6.00m	角 度		方位		地盤勾配		使用機種	試錐機	TOHO D-1									
総削孔長		20.45m								エンジン	ヤンマーNFD12-K			ポンプ		TOHO BG-3C				

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験								試料採取		室内試験	原位置試験	削孔月日
											深度－N値図	N値	深度	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度	試料番号	採取方法			
(m)	(m)	(m)										値	(m)	0	100	200		(m)					
		5.88	0.12		コンクリート	灰			コンクリートである。粒径不均一な細砂を主体とする。φ2～50mmの円～垂円礫を混入する。含水は無く、緩い。														
1		4.75	1.25		盛土（礫混じり細砂）	茶褐																	6/20
		4.65	1.35		表土（砂質シルト）	暗灰																	
		4.40	1.60		砂質シルト	茶褐																	
2					砂	茶褐	rd2		均質なシルトを主体とする。含水少なく、やや軟質である。不均質なシルトを主体とする。含水少なく、やや軟質である。粒径不均一な細砂～中砂を主体とする。含水やや多く、やや締まる。GL-2.80～-3.10m付近、φ2～20mmの円～垂円礫を混入する。	6/20 1.80		6.0	2.15	1	3	2	6/300	2.15	YK1-D-2	-	土粒子含水比の粒沈降		6/22
3		2.90	3.10										3.15	6	7	6	19/300	3.15	YK1-D-3	-	土粒子含水比の粒沈降		
4					シルト混じり砂礫	暗灰	rd3		φ2～30mmの円～垂円礫を主体とする。マトリックスは細砂～粗砂である。含水多く、やや締まる。GL-3.70～-3.80m付近、全体的にシルト分を混入する。GL-3.80～-3.90m付近、粒径が小さくなり、細砂を主体とする。			19.0	3.45					3.45	YK1-D-4	-	土粒子含水比の粒沈降		
5												12.0	4.15	4	5	3	12/300	4.15	YK1-D-5	-	土粒子含水比の粒沈降		
6		0.10	5.90						GL-5.40m以深、やや緩くなる。			21.0	4.45					4.45	YK1-D-6	-	土粒子含水比の粒沈降		
7									均質なシルトを主体とする。粘性弱い。含水やや少なく、やや軟質である。GL-5.90～-6.00m付近、有機質シルトを混入する。			5.0	5.15	10	8	3	21/300	5.15	YK1-D-7	-	土粒子含水比の粒沈降		
8												15.0	5.45					5.45	YK1-D-8	-	土粒子含水比の粒沈降		
9												10.0	6.15	2	1	2	5/300	6.15	YK1-D-9	-	含水比の土粒子の粒沈降		
10					砂混じり粘土	暗灰	rc4		GL-8.80～-8.90m付近、有機物を混入する。			15.0	6.45	4	5	6	15/300	6.45	YK1-D-10	-	土粒子含水比の粒沈降		
11									GL-9.65～-10.45m付近、シルト質砂を挟む。			10.0	7.15					7.15	YK1-D-11	-	土粒子含水比の粒沈降		
12												12.0	7.45					7.45	YK1-D-12	-	土粒子含水比の粒沈降		
13												12.0	8.15	3	3	4	10/300	8.15	YK1-D-13	-	土粒子含水比の粒沈降		
14		-8.00	14.00		シルト質砂	暗灰	rd3		GL-8.80～-8.90m付近、有機物を混入する。			12.0	8.45					8.45	YK1-D-14	-	土粒子含水比の粒沈降		
15		-9.40	15.40						GL-9.65～-10.45m付近、シルト質砂を挟む。			10.0	9.15	3	4	5	12/300	9.15	YK1-D-15	-	土粒子含水比の粒沈降		
16									GL-10.65～-11.45m付近、シルト質砂を挟む。			21.0	9.45					9.45	YK1-D-16	-	土粒子含水比の粒沈降		
17												6.0	10.15	4	4	4	12/300	10.15	YK1-D-17	-	土粒子含水比の粒沈降		
18												12.0	10.45					10.45	YK1-D-18	-	土粒子含水比の粒沈降		
19		-13.45	19.45		シルト質砂	暗灰			均質なシルトを主体とする。粘性やや弱い。含水少なく、やや硬質である。所々、粘土分を混入する。			9.0	11.15	1	1	2	4/300	11.15	YK1-D-19	-	土粒子含水比の粒沈降		
20		-13.75	19.75		砂礫	茶褐	rd5		GL-13.60～-14.00m付近、シルト質砂を挟む。			93.8	11.45	3	3	3	9/300	11.45	YK1-D-20	-	土粒子含水比の粒沈降		
21		-14.45	20.45						GL-14.80m以深、粒径が小さくなり、細砂を主体とする。			21.0	12.15	4	4	4	12/300	12.15	YK1-D-21	-	土粒子含水比の粒沈降		
22									GL-17.45～-17.60m付近、有機物を混入する。			12.0	12.45					12.45	YK1-D-22	-	土粒子含水比の粒沈降		
23									GL-17.90～-17.95m付近、有機物を混入する。			9.0	13.15	4	4	3	11/300	13.15	YK1-D-23	-	土粒子含水比の粒沈降		
24									GL-19.65～-19.75m付近、全体的にシルト分を多く混入する。φ2～30mmの円～垂円礫を主体とする。マトリックスは細砂～粗砂である。含水少なく、締まっている。			20.00	13.45	2	3	5	10/300	13.45	YK1-D-24	-	土粒子含水比の粒沈降		

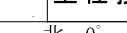
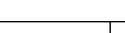
ボーリング柱状図

調 査 名 横 田 町 南 1 号 線 詳 細 設 計 業 務 委 託

ボーリングNo

事業・工事名

シート No

ボーリング名	VB-1			調査位置		高岡市横田町地内					北緯	36° 74' 42.8"			
発注機関	高岡市					調査期間	令和 6年 6月 6日 ~ 6年 6月 13日					東経	136° 59' 57.7"		
調査業者名				主任技師		現場代理人		コア鑑定者			ボーリング責任者				
孔口標高	GH=5.89m	角 上 下 度		方 向		地盤勾配 鉛直		使用機種 試錐機	YBM05-DA2			ハンマー落下用具	半自動落下装置		
総掘進長	10.00m								エンジン			YANMAR NFAD8			ポンプ

[illegible]